

新たに登録されたカンキツ「せとか」（口之津19号）の特性						
[要約] 「 <u>せとか</u> 」は 1月下旬以降が <u>可食期</u> となる， <u>果皮</u> が滑らかで， <u>浮き皮</u> が発生しない新しい品種である。 <u>肉質</u> は緻密で， <u>含核数</u> は少なく，食味良好である。						
長崎県果樹試験場・常緑果樹科	専門	栽培	対象	果樹類	分類	指導
平成8，9年度長崎県果樹試験場業務報告						

[背景・ねらい]

国の研究機関で育成されたカンキツ新品種「せとか」の果実形質を調査し，本県への適応性を明らかにする。

新品種の来歴

品種名	交配組み合わせ
	(♀ × ♂)
せとか	(清見×アスコール)NO.2 × マーコット

[成果の内容・特徴]

- ① 果実重は200g～300gで，果皮は滑らかで，浮き皮の発生は見られない（表1）。
- ② 果皮色は橙色～濃橙色で，果肉は緻密で，含核数は比較的少ない（表1，2）。
- ③ 露地栽培では，1月中旬で糖度12～14，酸含量は1.3g/100ml程度である。施設栽培では酸含量の減少が早い，糖度はやや低い（表2）。
- ④ そうか病，かいよう病には強い（系統適応性・特性検定試験成績）。

[成果の活用面・留意点]

平成10年8月21日に命名登録された。

[具体的データ]

表1 「せとか」の果実及び果皮の特性

年度	栽培法*	調査 月日	果形 指数	1果 平均重 (g)	果		皮			
					果皮色	カラーチ ャート値 (赤道部)	粗滑	はく皮 の難易	厚さ (mm)	浮皮
1996	露地	12.20	-	239	黄橙	6.0	滑	中	-	無
		1.19	113	298	橙	7.7	滑	中	2.5	無
		2.20	-	270	橙	8.5	滑	中	-	無
	ハウス	12.20	-	263	橙	7.2	滑	中	-	無
		1.19	116	266	橙	8.6	滑	中	2.7	無
		2.20	-	269	濃橙	9.3	滑	中	-	無
1997	露地	12.19	131	239	橙	7.6	滑	中	1.5	無
		1.21	129	244	濃橙	9.5	滑	中	1.7	無
	ハウス	12.20	123	236	橙	7.8	滑	中	1.4	無
		1.19	121	217	濃橙	9.1	滑	中	1.7	無

* 開花日 1996年(露地:5.21, ハウス:5.5) 1997年(露地:5.5, ハウス:4.28)

表2 「せとか」の果肉の特性及び品質

年度	栽培法	調査 月日	果 肉		さじょう			果 汁		
			果肉 歩合 (%)	じょうのう 膜の厚さ	色	硬さ	含核数	糖度	酸含量 (g/100ml)	糖酸比
1996	露地	12.20	85.4	中	橙	中	-	11.4	2.16	5.3
		1.20	85.0	中	橙	中	2.2	12.1	1.34	9.0
		2.20	84.8	中	濃橙	中	-	12.6	1.54	8.2
	ハウス	12.20	82.9	中	橙	中	-	10.8	1.21	8.9
		1.20	80.9	中	橙	中	0.3	10.7	1.18	9.1
		2.20	78.5	中	濃橙	中	-	11.7	0.99	11.8
1997	露地	12.19	86.2	中	橙	中	3.8	12.3	1.90	6.5
		1.21	87.0	中	橙	中	8.4	13.8	1.30	10.6
	ハウス	12.19	88.8	中	橙	中	11.8	11.3	1.18	9.6
		1.21	86.5	中	橙	中	17.4	12.0	0.89	13.5

[その他]

研究課題名: 中晩生カンキツの特性調査並びに栽培試験

予算区分: 県単

研究期間: 平成9年度(平成6年~10年)

研究担当者: 濱口壽幸

発表論文等: 平成8年度, 平成9年度 長崎県果樹試験場業務報告